

平成22年度小松島市事務事業評価シート

事業の位置づけ（基本事項）				整理番号	7 - 4 - 11
事務事業名	市総合グラウンド管理費			担当課係	体育保健課
総合計画上の位置付け	大項目	5. 「日（いとなみ）が輝く」		記入担当者	
	中項目	伝統・文化の継承・発展とスポーツの振興		内線等	
	小項目	3. 生涯スポーツの推進		E-mail	
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）			事業区分	経常事業
事業予算費目	款	10	教育費	項	7
	目	3	体育施設費	事業	1
開始年度	昭和 28	年度	根拠法令・要綱等	小松島市総合グラウンド使用条例	

事務事業の概要（実施内容）

事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 市民
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 小松島市総合グラウンドの安全で円滑な運営に寄与する。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） グラウンド管理の委託，地権者に対する借地料を支払う。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 昭和28年度より市民の体位向上と健康で文化的な生活の向上に寄与するため，小松島市総合グラウンドを設置し野球場及びテニスコートを運営する。

事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明				指標化できない成果 施設の設備や広さなどに対する利用者の満足度	
	施設利用件数	施設利用件数						
	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	将来目標 (年度：平成)		
件	目標	536	670	736	736			
	実績	670	736					
	達成度	125.0%	109.9%					
活動実績・参考となる指標	指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	指標の説明	
	市営グラウンド利用件数	件	計画	246	258	252	252	
			実績	258	252			
	市営テニスコート利用件数	件	計画	290	412	484	484	
			実績	412	484			
				計画				
			実績					
			計画					
			実績					

事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		21年度決算	22年度決算	23年度決算	22年度予算	
全体コスト（円）	関連事業費	A 直接事業費	40,535,072	39,873,774	0	
		財源内訳	国県支出金			
			地方債			
			利用者負担	971,935	714,735	
		B 一般財源	39,563,137	39,159,039		
	B 人件費 ×	496,900	664,700	0		
	職員平均人件費	4,969,000	6,647,000			
	従事した割合 人	0.1	0.1			
	A + B	41,031,972	40,538,474	0		
	単位コスト	活動指標の説明	施設利用件数 670件	施設利用件数 736件		備考
	活動指標 1 単位当たりコスト	61,241	55,079		平成21年4月1日現在 人口41,778人	
	市民一人あたりのコスト	982	977		平成22年4月1日現在 人口41,507人	

事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 平成18年3月に市と地権者の意見交換会を開催し、地権者全員の総意として県への移管、並びに土地の買収を含めての合意をいただいている。市としては当面、テニスコートとそれに隣接する児童公園分を残し、できる部分から県に対して広域公園として整備を要請している。その後平成20年に地権者へ進捗状況を報告している。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 市民やテニス愛好者から市営テニスコートの存続を望む声が多い。市営グラウンド借地問題について議会からの指摘をいただいております、県への移管に向けての協議を行っている。

項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	必要性が高い	総合体育施設として多くの市民の利用が図られている。
	どちらかといえば必要性がある	
	必要性が低い	
	必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	市が行わないといけない	小松島市体育協会に管理を委託している。
	どちらかといえば市で実施	
	必然性が低い	
	必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	効率的である	施設設備の運営維持に効果がある。
	どちらかといえば効率的	
	どちらかといえば非効率的	
	非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	緊急性が高い	施設の老朽化が進んでいる。利用者の安全で快適な使用を考え、早急な改善が必要である。
	比較的緊急性がある	
	緊急性が低い	
	緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	成果が上がっている	市民の体位向上及びスポーツを通じて心身の健全な育成が図られている。施設設備では平成21年度に照明施設の老朽化で落下等の危険のある設備を点検し撤去したため、夜間の使用はしていない。
	どちらかといえば上がっている	
	どちらかといえば上がっていない	
	成果は上がっていない	
今後の課題	落下等の危険のある照明施設を撤去したため、ナイター照明の照度が不足している。また撤去していない照明施設の漏電等の不具合も見つかっており、大幅な改修費用が見込まれる。また借地料の問題についても、移管に向けて検討する必要がある。	

一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

2	1	拡充する	80点以上	2	判定に至った理由	市総合グラウンドは、昭和28年開設以来、半世紀以上にわたり、本市のスポーツの拠点、憩いの場として、市民の健康づくりをはじめとする様々な面で今日まで大きな役割を果たしている。一方で施設が古く、ナイター設備も老朽化しており落下の危険性のある照明器具は撤去している。また、借地料の問題が大きな財政負担となっており、県への移管に向け継続的に協議する必要がある。
	2	現状のまま継続する	60～79点			
	3	改善・効率化し継続	50～59点			
	4	見直しの上縮小する	40～49点			
	5	終期設定し終了	30～39点			
	6	休止	20～29点			
	7	廃止	19点以下			

改善・効率化・見直しの方向性 一次評価の判定が3・4の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容(方向性・対象・手段等について記述)】	市総合グラウンドの敷地が徳島県が整備を進めている徳島東部都市計画公園、日峯大神子広域公園の区域内にあることから、市有地の部分も含めて、県へ移管して現状の用途以外も検討し、防災面でも安全・安心な場として充実した施設となるよう要望していきたい。
---------------------------------	--

二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

3	1	拡充する	判定説明	22年10月、市総合グラウンド用地の移管等に向けて県との協議の中で県としては現在の財政状況等鑑みれば、当分の間は事業着手は出来ないというのが実情である。今までの経緯や要望もあるため、今後とも協議、要望等については受けるとのことであり、引き続き県主官課と密に協議を行っている。
	2	現状のまま継続する		
	3	改善・効率化し継続		
	4	見直しの上縮小する		
	5	終期設定し終了		
	6	休止		
	7	廃止		